



藤房のはらはら三密なんのその

土屋泰山

「三密を避けろ」。この春の大号令は藤棚にも届いていた。ところが間隔を置いて垂れるわけにはゆかぬから開きなおったね。



ゴールデンウィークゴロ寝ウィークへ

堀川明子

笑いというものは単純なほど共感を呼んで多くの読者が笑ってくれる。使う言葉も下品になり過ぎない程度に俗な言葉を使うとよい。



卒業の校門に犬足上げる

久我正明

犬のションベンという「俗」と、卒業という「雅」を配して達者である。しかもションベンと書かないで「足上げる」の普通の表現が憎いね。



濃厚な接触できぬ春なんて

田村米生

「濃厚接触」という言葉を何度聞いたやら。この句は濃厚接触の好きな田村君の正直なつぶやきである。「ハグ」ができないぐらい我慢なさい。



それぞれのマスク褒め合ふ五月かな

高橋きのこ

マスクがあれば話題にこと欠かぬ。手づくりが普及して器用な人は褒められた。「アベノマスク」は揶揄の材料に。「国民の声とマスクが届かない」。



ランドセル手足生やせぬままにかな

壽命秀次

入学式をしたものの新型コロナに邪魔されて、ランドセルも背負われぬままにひと月が過ぎた。子どもではなくランドセルを主体にした表現がいい。